

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(13)	水及び食の備蓄について見直しが必要である。	飲料水及び食料備蓄の運用について検討し、適正な備蓄量を定め、管理・運営を行う。	飲料水及び食料備蓄の運用手順書を作成し日々、管理・運営にあたる。	1ヶ月
2	(12)	今後の重度化及び終末期ケアの対応に備え職員の精神的ケアを含めた研修が必要である。	重度化及び終末期ケアの対応に備え、職員の死生観等に対する研修を行う。	重度化及び終末期ケアの対応について、連携する訪問看護(師)とも話し合いを行い、職員の死生観等に対する研修会を行っていく。	2ヶ月
3	(5)	離床センサー等の使用に頼らないケアの支援について継続的に取り組む必要がある。	離床センサー等の使用を最小限に留める為、今後もアセスメントを継続し、頼らないケアの試作に努める。	離床センサー等使用者のアセスメントを継続し、定例会議等で検討を重ね、その経過についてご家族様の気持ちを尊重しながら、センサー等の使用を最小限に留める等の工夫を行っていく。	4ヶ月
4	(2)	地域の一員として相互交流の発展及び認知症予防の啓発等取り組む必要がある。	認知症予防等について地域啓発に努める。	認知症キャラバンメイト(資格)を活かし、地域(高齢者等)に向け、啓発活動を行っていく。	4ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。